



今年も7月から今月にかけてSPH関連の取組が多く行われました。販売実習が多かったですが、講座やゼミなどで深く考える機会もあったと思います。様々な人とかかわる中で、「商品売る」だけでない大切なものを発見できたのではないのでしょうか。これからもたくさんの経験の中から「三方よし」の精神を学んでください。

近江商人再生プロジェクト

平成30年7月21日～27日

富山・新潟・福島・栃木・東京・静岡の各都県

今年は猛烈な暑さでしたが、生徒25名と教員7名で様々な地域をめぐり、個別販売実習を行いました。辛いこともたくさんありましたが、人の温かみに触れることができ、少しずつ楽しみが増えていく7日間でした。この経験を活かし、事後学習や他の販売実習でも頑張ることができるようになりました。



また、8月17～18日には「第3回全国SBP交流フェア」でプロジェクトの三役が近江商人再生プロジェクトの報告プレゼンを行いました。一生けんめい説明し、内容と魅力を伝えてくれました。その後の販売交流会でも滋賀県の商品を販売し、販売を通じて他校との交流も図ることができました。

<生徒の感想より>

“正直このプロジェクトに参加する前は、このプロジェクトをなめているところがありまして、自分たちで仕入れた商品をお客様に買ってもらえばいい、売り上げを出したらいいと思っているところがありました。4日目に(そのことに気づいてからは)自分たちの商品を見て頂いているお客様には、精一杯、明るい声で、笑顔で、商品についての説明もしっかりするよう努力しました。”

“去年は自分の事だけでいっぱいだったけど、今年は(三役の職について)視野が広がったと思いました。自分のことだけでなく、周りも見なければいけなかったのも、そういう視野の広さを持って、今後の生活に生かしていきたいと思いました。”

各種ゼミ参加

まちなかゼミ 第1回:平成30年7月15日

第2回:平成30年11月11日

社会とつながる活動をしている方にお話をいただき、その方々の生き方について考え、自分たちができることをお互いに発表する学びの場でした。高校生・大学生・社会人など年齢を超えて話をする中で視野が広まりました。



各種ゼミ参加

滋賀キャンプ 2018 市民会議 平成30年8月17～20日

滋賀県を中心に他県からも参加があったこの4日間のキャンプは、社会的なプロジェクトを企画し、発表するものでした。外とのつながりや地域資源の活用など地域や社会を意識し、地元の良さを再発見しました。

商品開発

全商研究大会 平成30年8月2日

ご当地キャラ博 平成30年10月20～21日



本校マスコットキャラクター「てんぱちくん」をあしらった本校独自の商品（タオル、付箋、エコバッグ、リップクリームなど）を2回にわたり販売しました。その他、滋賀の特産品なども合わせて販売し、多くの方に八商を知ってもらうことができました。また、一緒に販売や募金活動をした他校の生徒とも交流をすることができ、絆を深めることができました。

近江商人探究 I

近江八幡市立史料館見学

平成30年9月19～21日

授業で学んだ内容を肌で感じるために資料館を見学しました。昔の近江八幡の様子、県外や外国と交流が盛んであったことを見学しました。また、旧西川家住宅も見学し、大きなそろばん、「先義後利栄」の掛軸など三方よしを基とした工夫を見ることができました。



高大連携講座

コンテストへの応募

課題研究「ビジネスリーダー養成講座」

3年生の課題研究「ビジネスリーダー養成講座」では、計8回、大学の先生に来ていただき、企業不祥事やソーシャルビジネスに関する講義をしていただきました。不祥事について



では、なぜそうなるのか、どうすべきなのか、おかしいと思っても行動できないのはなぜか、などについて深く考え、学ぶことができました。また、ソーシャルビジネスでは社会に役立つビジネスはどんなものか、ビジネスとして成り立つのかなどのお話を受けて、各自でコンテストへの案を考えました。11月17日には決勝大会にも参加します。

3年八商マルシェ

平成30年11月5日 4～6限

近江八幡市内7か所での固定販売

今年は1ヶ月前倒しで3年生の販売実習（八商マルシェ）を行いました。お天気にも恵まれ、去年よりも多くのお客様に来ていただくことができました。課題研究の講座ごとに仕入れた商品をしっかりと説明し、納得して購入していただきました。指定された場所の固定販売だけでなく、番重を持って近くの通りでの声掛け販売も行いました。

